

# 検査ニュース

Vol. 2 No. 3

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、「新規検査項目」、「検査受託中止」及び「検査内容変更」についてご案内致します。

公益財団法人佐賀県健康づくり財団  
佐賀県健診・検査センター  
専務理事 志 田 正 典

## ●新規検査項目

◆抗酸菌同定（質量分析）：156 菌種の抗酸菌が同定可能です。 （検査受託可能）

これまでの抗酸菌同定検査の一つである DDH 法では 18 菌種の抗酸菌が同定可能でしたが、本項目により、156 菌種の抗酸菌が同定可能となりました。

本項目は、質量分析法（MALDI-TOF-MS「※注」）による抗酸菌同定として「抗酸菌検査ガイド 2016」に掲載されており、培養陽性菌株を用い、抗酸菌の同定菌名を報告いたします。多くの同定菌種に対応した検査手法を導入することにより、患者の治療方針決定のためのみならず、疫学面からも、より効果的な結核菌診断に貢献できる検査としてご活用ください。

※この検査は、菌株に対して行う検査です。生材料からは直接検査できません。

検査項目	検査材料	実施料 判断料	所要日数	検査方法	報告菌種
抗酸菌同定 (質量分析)	培養陽性菌株または菌株	361 ※6	2~5	MALDI-TOF-MS	156菌種
抗酸菌核酸同定 (DDH)	培養陽性菌株または菌株	410 ※6	3~5	マイクロプレート ハイブリダイゼーション法	18菌種

〔参考〕

※6 微生物学的検査

### 菌株による抗酸菌同定法

※検査案内101ページ参照

- 結核菌群PCR : 結核菌群の同定が可能
- MAC PCR : M.avium, M.intracellulareの同定が可能
- 抗酸菌核酸同定(DDH) : 18菌種の同定が可能
- 抗酸菌同定(質量分析) : 156菌種の同定が可能**

※注 MALDI-TOF-MS（マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法）とは

試料のタンパク質をレーザーでイオン化し検知器まで飛行させ、その飛行時間の差を測定し、得られた質量と強度のマススペクトルパターンを既知データと照合することにより菌種を同定する方法です。

# 検査ニュース Vol. 2 No. 3

## ◆CDトキシン (GDH) (平成 30 年 7 月 6 日より検査受託)

糞便検体中のクロストリジウム・ディフィシル (Clostridium difficile) が産生する毒素 (トキシン A, B) とディフィシル抗原 (GDH) を検出可能な試薬変更に伴い、新規項目として受託致します。

検査項目	検体	採取容器	実施料 判断料	所要日数	検査方法	基準値
CDトキシン(GDH)	便	便容器	80 ※5	2~4日	イムノクロマト法	CDトキシンA,B (ー) ディフィシル抗原(GDH) (ー)

※5 免疫学的検査判断料

## ●検査受託中止

案内書 掲載頁	項目コード No.	検査項目	備考
99	1527	CD toxinA,B	「CDトキシン(GDH)」の受託開始に伴い、平成30年7月5日 ご依頼分をもって受託中止。

## ●検査内容変更

### ◆血清亜鉛 (Zn) (平成 30 年 7 月 6 日ご依頼分より)

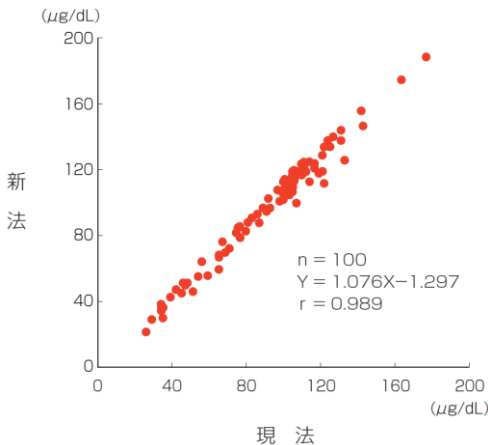
亜鉛 (Zn) は、タンパク質合成、ホルモン活性発現など、正常な生命維持に不可欠な微量元素です。発生・成長、組織の修復、骨の維持、生殖・感覚・食欲・免疫機能など生体内の様々な機能が亜鉛に依存されて維持されており、亜鉛欠乏の検出は疾患の治療に結びつく重要な情報の一つとなります。

項目コード No.	検査項目	変更内容	現	新
1257	血清亜鉛 (Zn)	検査方法	原子吸光分析法	比色法
		基準値 (単位)	65~110(μg/dL)	80~130(μg/dL)
		報告範囲	10未満、 10~9999999	5未満、 5~9999999

## ●採取容器の変更

検査項目名	現	新
血清亜鉛 (Zn) 血清銅 (Cu)	㊸重金属用真空採血管	スピッツ (茶色栓)

### ■新法と現法の相関【亜鉛】



### 検査受託再開のお知らせ

検査ニュース Vol. 2 No. 1 でお知らせ  
いたしました下記項目につきまして、  
受託を再開いたしました。

・麻疹 (PA)